

伝えたい 私の思い あなたの思い 佐田岬でトーク(投句)

佐田岬トーク(投句)プロジェクト

町の文化拠点や観光拠点となる施設に投句ポストを設置し、町民の皆様や児童生徒、近隣市町の俳句愛好家・観光客の皆様を対象に俳句を募集します。皆様に投句をしていただくことにより、この伊方町に持続可能な俳句文化を創ろうと考えております。

俳句をとおして、自分の気持ちを伝え、皆様の温かい心の交流ができればと思います。また、このプロジェクトが町のにぎわいにつながればと思います。

気軽に、あなたも思いを俳句にして、

投句(トーク)してみませんか。

令和5年 1月21日(土)～

第1回は1月19日～2月19日まで募集、第2回からは4月19日、6月19日、8月19日、10月19日、12月19日に回収し選考。以後同様。

(隔月 特選1名・入選9名に賞品贈呈)

期間

賞

俳句募集

●方法

投句用紙(投句ポスト備え付け) または同サイズの紙に必要な事項を記入し、投句ポストに投句 応募は無料

●投句用ポスト設置場所

中央公民館、伊方町立図書館、町見公民館、瀬戸公民館、三崎公民館、道の駅きらら館、健康交流施設亀ヶ池温泉、観光交流施設佐田岬はなはな

● 選考・選者

《伊方町出身の俳人》 坪内 稔典 氏
《選考協力》 伊方町内俳句会の皆さん

● 発表

伊方町ホームページ「佐田岬(トーク)投句プロジェクト」にて結果を発表



《選者》俳人
坪内 稔典 氏



佐田岬投句ポスト

投句ポストには、子どもたちの作った木の動物を飾っています。

詳しくは裏面をご覧ください。

あなたも俳句をつくってみませんか!

～ 佐田岬トーク（投句）プロジェクト ～

伊方町は、ご承知のように俳人・歌人・日本文学者の 坪内稔典 氏 のふるさとです。かつては、町内にも多くの句会サークルがありましたが、現在は俳句人口も少なくなってきました。

そこで、伊方町教育委員会では、本年1月21日から佐田岬トーク（投句）プロジェクトを始めました。町の文化拠点や観光拠点となる施設に佐田岬投句ポストを設置し、町民の皆様や児童生徒、近隣市町の俳句愛好家・観光客の皆様を対象に投句をしていただくことにより、持続可能な俳句文化を創ろうと考えております。俳句をとおして、自分の気持ちを伝え、皆様の温かい心の交流ができればと思います。また、文化・観光交流拠点に投句ポストを置くことで、文化・観光の推進を図り、施設の利用促進・活性化に繋げていく考えです。

あなたも思いを俳句にして、気軽に投句（トーク）してみませんか。応募は誰でもでき、無料です。要領は次のとおりです。

1 投句期間

2か月の間隔で募集を行い、選考いたします。

第1回は変則で、令和5年1月21日から2月19日まで。

第2回からは4月19日、6月19日、8月19日、10月19日、12月19日等、隔月に回収し選考いたします。

2 投句方法

季節の俳句や佐田岬に関する俳句など、自由に作ってください。投句用紙（投句ポストに備え付けてある。また伊方町ホームページにも形式見本がある。）または同サイズの紙に、必要事項を記入し、以下の投句ポストに投句してください。応募は無料です。

3 佐田岬投句ポスト設置場所

- ① 中央公民館 ② 伊方町立図書館 ③ 町見公民館 ④ 瀬戸公民館 ⑤ 三崎公民館
⑥ 観光物産センター 道の駅きらら館 ⑦ 健康交流施設亀ヶ池温泉 ⑧ 観光交流施設佐田岬はなはな

※ 令和5年度開館予定の文化交流施設佐田岬半島ミュージアムにも設置します。

※ インターネット投句については、趣旨から当面の間は行いません。

4 選考・選者

- ① 選考 隔月に1回行います。
② 選者 伊方町出身の俳人 坪内稔典 氏 が選考いたします。
③ 選考協力 伊方町内俳句会の皆さんに協力していただきます。

5 賞・賞品

- ① 賞 入選 10名 その内の1名を特選といたします。
② 賞品 特選 図書カード等 入選 図書カード等 ※各入選者に配送いたします。

6 発表

伊方町ホームページで（入選者には賞品発送をもって）発表いたします。

7 留意事項

- ① 作品は本人が創作した未発表のものとし、類似作品等の応募はお控えください。
② 一人何句でも応募できますが、入賞は隔月一人1回です。
③ 入選作品の著作権及び派生する権利は伊方町教育委員会に帰属します。
④ 入選作品については、作品、作者名（本名またはペンネーム等）、住所（町名まで）、学校や保育所については所属校名を公表させていただきます。

8 問合せ

伊方町教育委員会 文化・スポーツ推進係 電話0894-38-2661 二宮・中村まで